

編 集 後 記

『放送大学研究年報』第21号をお届けします。本号には、14篇の論文と1篇の研究ノートが寄せられました。これまで刊行された研究年報と比較して、論文数ではもっと多い号がありましたが、ページ数では本号が最大かもしれません。教育学から天文学まで内容は多岐にわたっており、全体を一瞥するだけでも、本学のカリキュラムが実に広い範囲をカバーしているのを実感することができますでしょう。

2003年10月に放送大学学園の設置形態が変わり、特殊法人から特別な学校法人になりました。それにとまってさまざまな改革も進められています。ここ数年、研究年報の編集は図書委員会が担当してきましたが、改革の進め方によっては研究年報の編集のあり方にも変化が起こるかもしれません。ただ、どういふ変化が起こるにせよ、教員が自由に研究成果を発表できる場としての研究年報が存在理由を失うことはないでしょう。

もちろん、それは研究年報が現在のままでよいということではありません。古い革袋に新しい酒を注ぐ必要はあります。この3月には、放送大学大学院の修士号取得者も誕生します。新しい時代に応じた年報のあり方について、本号を読まれた方からも新鮮な意見が寄せられることを期待しております。

2004年2月

放送大学研究年報編集委員会

委員長 阿 部 齊
委 員 原 ひろ子・大曾根 寛・橋 玲子・西川 泰夫
山田 辰雄・森谷 正規・東 千秋・柏原 啓一
渡辺 保・青山 昌文・熊原 啓作・濱田 隆士
藤田 暁男

放送大学研究年報 第21号 平成16年

平成16年3月26日 印刷

平成16年3月31日 発行

編集兼発行者 放 送 大 学
〒261-8586 千葉県美浜区若葉2丁目11番地
電話 043-276-5111 (代表)
印 刷 者 高 山 印 刷 株 式 会 社
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-11-5
